

# 第2章 分野別計画

## 1. 分野別計画の体系

基本目標	施策の大綱	基本計画の施策分野	掲載ページ
Ⅰ 人と自然が共生する心地よい環境	(1) 地域の特性を活かし、調和のとれたまち	①土地利用	22
		②地籍調査	28
		①緑のまちづくり	30
	(2) 緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	②公園	32
		③愛知用水上部利用	34
		④さんさんの郷	36
		⑤河川	38
		⑥景観	40
		①地球環境の保全	42
(3) 環境と人にやさしいまち	②循環型社会	44	
	③下水道	46	
	④墓地	48	
	①地域福祉	50	
Ⅱ 誰もが健康で生きがいのある暮らし	(1) みんなで助け合える福祉のまち	②高齢者福祉	52
		③障がい者福祉	54
		①保健	56
	(2) 生涯健康で安心して暮らし続けられるまち	②医療・救急体制	58
		③医療助成	60
		④医療保険	62
		⑤介護保険	64
		⑥国民年金	66
		⑦福祉事務所	67
	(3) 生きがいを持って楽しく暮らせるまち	①生涯学習	68
		②人材の活用 (シルバーエイジ・アクティビター)	70
	(4) 文化・芸術に親しみ、育むまち	①文化・芸術	72
		②図書館	74
	(5) 生涯スポーツができ、健康で元気なまち	①スポーツ	76
		②健康づくり	78
Ⅲ 安全で安心して住み続けることができる地域	(1) 安全で快適な住環境が整ったまち	①市街地整備	80
		②建築物の耐震化	82
		③防災拠点整備	84
	(2) 誰もが安心して出かけられるまち	①ユニバーサルデザイン	86
		②公共交通	88
		③道路・橋梁	90
	(3) 地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち	①交通安全、防犯	92
		②防災・消防	94
		①農業	96
Ⅳ 魅力ある活力とにぎわいのまち	(1) 効率的で安定的な農業を育むまち	①工業	98
		①まちの顔づくり	100
	(2) 環境と調和した活気あふれる工業が盛んなまち	②商業・観光	102
		①国際交流と多文化共生	104
	(3) にぎわいと交流のあるまち	①友好都市交流、広域交流	106
Ⅴ 社会と次代を担う自立した人材の育成	(1) 安心して子どもを産み、育てられるまち	①子育て支援	108
		②家庭教育	110
	(2) 豊かな心と個性が輝くまち	①小中学校教育	112
②高等教育と地域連携		114	
Ⅵ 市民と行政の協働による自立した自治体経営	(1) 誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進	①青少年健全育成	116
		①市民の参画と協働によるまちづくり	118
		②男女共同参画	120
	(2) 市民サービスを高める行政運営の推進	①行政情報の公開	122
		②広報・広聴	124
		③市民情報サービスセンターの充実	126
		④行政組織	128
		⑤電子自治体	130
		⑥行政改革・行政評価	132
		⑦広域行政の推進	134
(3) 健全で安定した財政運営の推進	①財政	136	

## 2. 分野別計画の見方

**基本目標**  
 基本構想で示した6つの基本目標を示しています。

**施策の大綱**  
 基本構想で示した施策の大綱を示しています。

**施策の項目**  
 施策大綱に示された内容を分野ごとに細区分し、項目立てをしています。基本計画は、この項目別に現状と課題、基本事業と目標指標、施策の進め方を見開きで示しています。

**現状と課題**  
 施策項目別に、これまでの取組の現状と今後の課題を示しています。

**グラフなど**  
 現状と課題に関する主要なデータについて、これまでの実績値と将来予測値をグラフなどで示しています。

**インデックス**  
 基本目標と施策の大綱を示しています。

**基本事業と目標指標**  
 施策項目別に、基本となる施策の内容、主な事業と目標指標を示しています。

**基本事業と目標指標 (めざそう値)**  
**1 交通安全意識の高揚**  
 幼児や小中学生、若者に対する交通ルールの徹底と高齢者に対する交通マナーおよび運転技能のチェックも含めた交通安全教室を開催します。

指標名 (めざそう値)	指標の定義	初年度 H20	中間 H25	目標 H30
人身事故件数	市内で発生した人身事故件数を20年度実績と比較して減少	352件	16.5%減 (294件)	20.0%減
子ども交通事故死傷者数	15歳未満の子どもの交通事故死傷者数を20年度実績と比較して減少	38人	39.5%減 (23人)	40.0%減

### 基本となる施策

基本となる施策名と施策の内容を示しています。

### 主な事業

基本となる施策に係る主な事業を示しています。

### 目標指標(めざそう値)

基本となる施策の達成状況を評価するための指標名、指標の定義、数値目標を示しています。「初年度H20」、「中間H25」は実績値、「目標H30」は計画の最終年度の目標値を示しています。

### 施策の進め方

施策項目別に、施策をどのように進めていくか、協働の考え方、市民と行政の役割分担の考え方を示しています。

### 施策の展開シナリオ

段階的な施策の進め方、優先的に実施する施策などを示しています。

### 協働の考え方

施策を進めていく上での協働の考え方を示しています。

### 市民と行政の役割

施策を進めていく上での市民と行政の役割を示しています。

指標名(めざそう値)	指標の定義	初年度 H20	中間 H25	目標 H30
若者交通事故死傷者数	16歳から24歳未満の若者の交通事故死傷者数を20年度実績と比較して減少	88人	12.4%減(7人)	20.0%減
高齢者交通事故死傷者数	60歳以上の高齢者の交通事故死傷者数を20年度実績と比較して減少	60人	28.3%減(17人)	30.0%減

  

#### 2 交通安全施設の整備

人にやさしく、快適な道路環境を目指すとともに、歩行者の安全確保を図る市道の歩車道境界ブロックやガードパイプ、ガードレール、夜間の交通事故防止を図る交通安全灯の整備を促進します。

指標名(めざそう値)	指標の定義	初年度 H20	中間 H25	目標 H30
市道へのガードパイプなどの設置	ガードパイプなどの延長	66km	70km	75km
交通安全灯の設置数	交通安全灯の設置数	1,151基	1,283基	1,320基

  

#### 3 犯罪の防止・防犯意識の高揚

犯罪件数の減少を目指し、防犯カメラ設置の推進や地区自主防犯パトロール隊への支援、市民の防犯意識の高揚を図るとともに明らかにまちづくりのために防犯灯の設置を進めます。

指標名(めざそう値)	指標の定義	初年度 H20	中間 H25	目標 H30
犯罪件数	市内で発生した犯罪件数を20年度実績と比較して減少	1,125件	27.3%減(818件)	30.0%減
自主防犯パトロール隊員数	自主防犯パトロール隊で活動する隊員数を20年度実績と比較して15%増加	1,524名	1,720名	1,750名
防犯灯設置数	防犯灯の設置数を20年度実績と比較して10%増加	2,000灯	2,174灯	2,200灯
防犯カメラ設置行政区数 <small>新規</small>	区内に防犯カメラを設置した行政区数		4行政区	10行政区

  

#### 施策の進め方

##### 施策の展開シナリオ

交通事故や犯罪のない安全なまちを目指し、交通事故を減少させ、市民参加型の交通安全体制の充実と交通安全意識の高揚を図るための啓発などを行うとともに、警察と連携し交通安全施設の整備・充実を図ります。

防犯対策では、警察や関係団体と連携し市民の防犯意識の高揚を図る啓発などを行うとともに、行政区や地区自主防犯パトロール隊の支援や防犯灯、防犯カメラなどの防犯施設の整備・充実を図ります。

##### 協働の考え方

市民や事業者、警察、行政が、その役割に応じた責任を認識し、情報交換や意見交換を行いながら効果的・効率的な交通安全活動、防犯活動を展開します。

##### 市民と行政の役割

市民一人一人が、交通安全・防犯意識を高め、交通ルールを守り、「自分の身は自分で守る」意識のもと、各自の防犯対策を実施し、地域での立哨活動や防犯パトロールなどに参加します。

行政は、警察などと連携し、市民の交通安全・防犯意識を高めるための対策を行うとともに、地域や団体を支援し、交通安全施設や防犯施設を整備します。

MIYOSHI-CITY MASTER PLAN 93